

# ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所  
士別市東7条9丁目  
Tel0165-22-3100  
fax0165-23-4356

# 新春の集いで道政報告

## 会場溢れんばかりの来場に感謝!

「北口雄幸道議と語る新春の集い」は、1月14日土別市内のホテルで開催。会場溢れんばかりの皆さんにご参加いただき、心から感謝申し上げます。

冒頭、小貫勝太郎後援会長が挨拶。その後、牧野勇司土別市長及び佐々木隆博衆議院議員から激励のご挨拶をいただきました。

### 甜菜に産地資金

その後、北口道議からの道政報告では、甜菜や澱粉原料用馬鈴薯に対する産地



新春の集いで道政報告(1月14日)



管内市町村長による鏡開き

資金の活用による輪作体系維持の必要性とTPPに向けた取り組み、社会保障と税の一体改革では、まず社会保障のあり方について具体的イメージを示すべきとの考え方を話しました。

鏡開きでは管内から駆けつけてくれた市町村長にも登壇いただき、山居忠彰土別市議会議長の音頭で鏡開きを行い、参加した皆さんと懇談を深めさせていただきました。

また、集いの締めくくりには、「A北びびきの西本護専務理事による一本締めで集いを

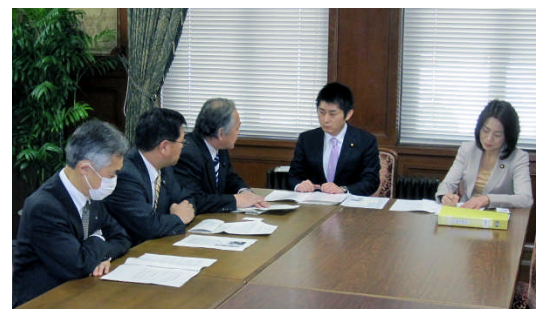
閉会させていただきました。

## 酪農・畜産で中央要請実施

酪農・畜産対策で2月28日、中央要請行動を行ってきました。今回の要請では、

- (1) 加工原料乳生産者補給金及び限度数量の適切な設定、
- (2) 指定食肉安定価格の適切な設定、
- (3) 肉用子牛の保証基準価格等の適切な設定、
- (4) BSE対策の再評価における国民の理解を得るための対応などについて、道選出国會議員や農水省に対して要請してきました。

この要請に対し、民主党・陳情対応本部の松浦大悟副本部長は、「今朝も、党のワーキングチームで、酪農・畜産対策について議論し、党政策調査会へ引き上げの方向で提言書をまとめることを確認した。国会での予算審議が遅れており、例年よりも国の方針が遅れる見込みであるが、しっかりと対応したい」とのお話しをいただきました。



民主党本部へ酪農畜産対策を要請

### 加工乳は25銭上げ

私たちの要請を受け3月22日農林水産省は、平成24年度の畜産物価格等について次のとおり決定しました。

チーズやバターなどの加工原料乳生産者補給金単価については、現行の1kgあたり11円95銭から、25銭引き上げられ、12円20銭となりましたが、限度収量は2万トンの減の183万トとなりました。

豚肉や牛肉の指定食肉価格、肉用子牛の保障基準価格及び合理化目標価格については、現行価格どおりの据え置きとなりました。

第一回定例道議会報告(2月23日~3月23日)

第1回定例道議会は、2月23日(木)に開会、平成24年度道予算、北海道が対策推進条例、北海道水資源の保全に関する条例などを可決し、3月23日(金)に閉会しました。

綱渡りの道財政

道の24年度予算案は一般会計2兆7千4百10億円、特別会計5千3百57億円の合計3兆2千7百67億円。一般会計では、23年度の選挙後の補正予算に比べ2%減で、当初予算ベースで5

年連続の減少。地方交付税は回復したものの、道税は法人二税を中心に伸び悩み24年度末の道債残高見込みは5兆8千4百億円に膨らみ、財政状況は、さらに厳しさを増しています。

10年目となった高橋知事による道政運営が、経済活性化や雇用確保、地域振興等で効果をあげられないでいることが浮き彫りとなっています。

また、地域や道民に負担や痛みを強いるだけで進めてきた行財政改革の取り組み



予算特別委員会の補正先議で、会派を代表して質疑(3月13日)

平成24年度 可決された当初予算 (単位:千円)

Table with 4 columns: 項目, 一般会計, 特別会計, 合計. Rows include 当初予算額, 1定補正額, and 合計.

平成23年度 最終補正予算 (単位:千円)

Table with 4 columns: 項目, 一般会計, 特別会計, 合計. Rows include 現計予算, 1定補正額 (with sub-rows for 冒頭補正, 追加補正, 追加補正), and 合計.

指示待ちの知事姿勢

東日本大震災から1年が経過。防災対策や原発を含むエネルギー施策で、国の検討待ち、指示待ちばかりの、積極的、具体的な対応は、まったく効果をあげていません。人口減少をはじめとする地域の衰退は急激に進行していますが、知事から具体的な対応は、ほとんど示されませんでした。

破たん状態のHAC

また、道が経営の危機を認識しながら、その対応を先延ばししてきたことによ

が、できないでいる状況も明らかになりました。空知地方を中心とする豪雪対策の遅れに見られたように、地域の状況を的確に把握し、速やかに対応する道の機能が衰えていることが反映されています。

採択された決議・意見書

大問原発建設に関する意見書 原子力発電所の安全対策に関する意見書 東日本大震災に係る災害廃棄物の受け入れに関する意見書 緊急事態に関する意見書 北朝鮮による拉致問題の早期解決を求める意見書 豪雪災害に関する意見書 2次医療圏の設定に関する意見書 成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種化に関する意見書 地籍調査の充実を求める意見書 登記の事務・権限等の地方への移譲に関する意見書 観光業における原子力損害の賠償に関する意見書

写真で振り返る北口道議の活動記録(1月~3月)



士別市成人式で挨拶(1月8日)



士別市消防出初め式で挨拶(1月6日)



山部農民連盟定期総会で挨拶(1月30日)



日甜(株)小笠原社長(左から2人目)(1月19日)



北上川郵便局長会総会で挨拶(2月18日)



上川郵便局長会総会で挨拶(2月11日)



愛別町から高等支援学校設置の請願(3月9日)



美深育成園改築記念式典で挨拶(2月12日)



大雪で曲がった空知のハウ入などを視察(3月14日) 吉村美栄子山形県知事(中央)と記念撮影(2月9日)



# 北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kiaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(1月〜3月分)

## 1月2日【年頭街宣】 穏

やかな新年を迎えた今日は、佐々木隆博衆議院議員と私、出合孝司、松ヶ平哲幸両士別市議とともに、和寒町、剣淵町、士別市内で年頭街宣活動を行ってきた。出合市議と松ヶ平市議が交代で司会を担当。私からは道政と泊原発プルサーマル計画などの「やらせ」問題などについて報告。佐々木代議



佐々木代議士とともに年頭街宣

士からは、TPP参加問題と消費税導入などによる社会保障制度のあり方などについて報告した。(後略)

## 1月7日【富良野消防出初式&年頭街宣 in 富良野】

富良野消防出初式は、駅前通での分列行進を市民に披露。その後の式典では、



富良野消防出初め式

永年勤続者表彰を行い、富良野広域連合長である能登市長からの式辞では、「東日本大震災では救急援助隊を派遣、さらに陸前高田市に消防車両を無償譲渡した」ことと、7月のJR石勝線の脱線火災事故では、「近隣消防と連携し、一人の犠牲も出さず160人を救助した」と報告された。来賓挨拶で私

は、「超党派の消防議連の役員として、消防資機材の整備や職団員の待遇改善も図るため努力する」とお話しした。その後の富良野市内での年頭街宣では、コープ札幌前と駅前通、フォレスト前の3ヶ所で、佐々木代議士とともに国政、道政報告したところだ。

## 2月22日【北海道指導農業士協会との意見交換】 農政

委員会終了後、北海道指導農業士協会(片野泰嗣会長)と農政委員会メンバーによる意見交換会を行った(中略) 今日意見交換会には、片野会長を始めとする13名の役員皆さんが参加。各地域での農業・担い手の



北海道指導農業士協会と意見交換

現状や今後の見通し、担い手の育成・確保の方策などについてお話しいただいた。

## 3月3日【美瑛町農連定期総会】



第64回美瑛町農民連盟定期総会

第64回美瑛町農民連盟定期総会には、約80名の代議員が参加して開催され、冒頭、小野寺委員長は、「昨年の美瑛町の水稻は、大豊作であったが、畑作について約10億円の共済金が支払われるという結果となり、あらためて共済金の必要性を認識した。また、TPP問題については、食料のあり方などについて、皆さんと一緒に考えていきたい」と挨拶された。その後、私にも挨拶の機会をいただき、TPPについては超党

派で反対することを報告し、農政副委員長として過日、酪農・畜産対策で中央要請したことをお話しした。参加した皆さんからは、どうすればTPPに参加しないようにできるかなどのご意見が出され、「全町民課題として取り組みを進めてほしい」とお話しした。

## 【つづいて】

高橋知事の「国の検討待ち」指示待ちの姿勢が目立った今議会であった。新エネルギー・省エネルギー促進行動計画では、本来目指す姿や具体的目標を示さなければならぬが、今夏にも示される国のエネルギー基本計画を踏まえて設定するとし、具体的目標は示されていない。昨年の東日本大震災での福島原発事故を受け、再生可能エネルギーへの期待は高まり、北海道はその宝庫でもある。泊原発3号機は5月にも定期点検に入り、3つの原発は全て停止することとなる。原発に依存しない社会を確立するためにも、再生可能エネルギーでの目標をしっかりと示すべきと思うのだが。(ゆうこう)